

編集後記

本田先生の『児童の世紀』を振り返るの連載は、その四へになりました。保育も研究もそして私自身の子育ても、その時代の空気のなかにあつたのだと感じさせられます。

*

高橋先生の記事を読んでいると、「年長組」の先生の大変さが伝わってきます。私には、長男のしが一年保育の公立幼稚園に通っていた頃のこと、登園したしにN先生が説いています。「しきんもコリントゲームを作ろうよ。ばかばかと冬の日の当たる園庭にはすでにゴザが敷かれ、数人が板切れにクギを打ち

付けています。あたりに響くトントンという小気味よい音、幼い子どもたちの大工仕事をする姿。私は思わず「おもしろそう」とつぶやきました。

ところが、Lは予定した別の遊びがあるらしくその誘いにはのりません。それから毎朝のようにその誘いは続きました。結局、Lができあがつた作品を持ち帰ったのは何週間も後のことでした。けれども、一旦作ってみたらおもしろかったのか、早速その日から、友人や妹も交えた家でのコリントゲーム作りが始まっています。にぎやかに遊んでいました。

コリントゲームのおもしろさを全員に経験させたい、それも一人ひとりのペースに合わせて、という意図を表現させたN先生の根気強さに脱帽させられました。

(A)

幼児の教育

第九十六巻 第十一号
(一九九七年十一月号)

定価四六〇円(本体四三八円)

発行 平成九年十一月一日

編集兼発行人 田代和美
発行所 日本幼稚園協会

〒112 東京都文京区大塚二一一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108 東京都港区三田五ー一二ー
株式会社 フレーベル館

〒113 東京都文京区本駒込

六一四一九

☎〇三一五三九五ー六六一三(営業)
☎〇三一五三九五ー六六〇四(編集)
振替 〇〇一九〇ー二一ー九六四〇

☆ 本誌の購読のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。